

## 2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議

国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界の英知を一堂に集め、解決方策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。

現在、我が国は、2025年国際博覧会の誘致に向け、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマを掲げて開催国に立候補しているところであり、BIE（博覧会国際事務局）の開催国決定を本年11月に控え、誘致の実現に向けた国内の機運醸成が一層求められている。

2025年国際博覧会を我が国で開催することは、2020東京オリンピック・パラリンピックに代表される国際的イベントにより生み出されるレガシーを引き継ぎ、日本に対する理解と信頼の促進に寄与するとともに、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成目標年まで残り5年となる時点で目標達成に向けた取り組みを後押しする機会になるという点で大きな意義のあるものである。

また、海外からの多くの観光客を呼び込む絶好の機会となるものであり、大阪・関西と新幹線で直結する本県にとっても、観光を初めとする産業の振興や交流人口の拡大などにより、さらなる活性化が期待できる。加えて、平成28年熊本地震からの復興を世界に発信するとともに、支援を寄せてくれた各国の人々に感謝の意を示す機会となるものである。

よって、熊本県議会は、大阪・関西における2025年国際博覧会の開催を支持し、2025日本万国博覧会誘致委員会の招致活動に対して支援・協力を行うものである。

以上、決議する。

平成30年3月16日

熊本県議会